



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月7日

上場会社名 株式会社サンエー 上場取引所 東
コード番号 2659 URL <https://www.san-a.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 沢
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 玉寄 雅人 TEL 098(898)2230
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 無 (百万円未満切捨て)
決算説明会開催の有無 : 無

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	182,461	3.3	12,626	0.8	13,109	1.9	8,077	△0.9
2025年2月期第3四半期	176,625	4.5	12,523	5.6	12,870	6.0	8,146	3.7
(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期	8,943百万円(3.0%)		2025年2月期第3四半期		8,679百万円(4.4%)			
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
2026年2月期第3四半期	円	銭	円	銭				
2025年2月期第3四半期	130.61		—					
2026年2月期第3四半期	131.76		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 211,153	百万円 158,112	% 72.8
2025年2月期	191,224	154,546	78.7

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 153,790百万円 2025年2月期 150,507百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 一	円 銭 0.00	円 銭 一	円 銭 80.00	円 銭 80.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	247,876	4.5	17,227	1.8	17,796	1.9	11,005	△4.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	63,963,308株	2025年2月期	63,963,308株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	2,115,656株	2025年2月期	2,125,856株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	61,843,572株	2025年2月期 3Q	61,832,203株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査：無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年3月1日～2025年11月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。その一方で、継続する原材料価格の上昇や米国の通商政策の動向等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

沖縄県の経済におきましては、入域観光客数が前年同期を上回って推移しており、国内観光客は過去最高を更新、外国人観光客も台湾や韓国を中心に回復し、今後も増加が見込まれております。一方で、継続的なインフレ下での商品の値上げにより、お客様の節約志向が高まっており、人手不足や各種コストの増加、業態の垣根を越えた競争の激化等、小売業界については厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社の経営方針を「るべき姿」とし、人財力や仕組力、商品力、店舗力の向上に取り組むとともに、引き続き企業理念の浸透、七大基本（クリンリネス、鮮度と品質、品揃え、価格、陳列技術、サービス、正しい表示）の徹底、既存店の活性化、効率化を図る等、お客様満足度の向上に努めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益(売上高及び営業収入)1,824億61百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益126億26百万円(同0.8%増)、経常利益131億9百万円(同1.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益80億77百万円(同0.9%減)となりました。

【人財力の向上】

正社員、パートナー社員（パート）、アルバイトに対する社員研修を積極的に実施し、企業理念の浸透や七大基本の徹底などの理念教育と、実務研修として事業部研修（県外や海外のメーカー・工場の視察研修、食品加工センターと店舗社員の交流研修等）、新任店長研修を行いました。理念教育と実務研修の両輪により、永続性ある企業経営に向けた人財育成に取り組んでおります。

【仕組力の向上】

食品スーパーにおいてフルセルフレジや電子棚札、外食レストランにおいてタブレットオーダーシステム・配膳ロボット等の効率機器を積極的に導入し、接客対応時間の増加や働き方改善に繋がるよう取り組んでおります。当期（2026年2月期）につきましては、食品スーパーにおいて電子棚札を20店舗、フルセルフレジを24店舗へ導入（新規11店舗、追加13店舗）を予定しております。

【商品力、店舗力の向上】

食料品につきましては、他社との差別化として、「くらしモア」、「ローソンオリジナル」や「成城石井」の商品等の販売を強化しております。また、食品スーパーにおいて試食販売を強化し、商品価値を伝えることで売上点数アップにつながるよう取り組んでおります。衣料品につきましては、沖縄独自の文化である「かりゆしウェア」の売上が豊富な品揃えにより好調に推移しております。また、国内・海外からの観光客の増加に伴い、土産品の売上や免税売上も伸長しております。

既存店につきましては、10月に「マチナトシティ」（沖縄県浦添市）を開店した一方で、4月に「V21食品館我如古店」（沖縄県宜野湾市）、8月に「V21食品館照屋店」（沖縄県沖縄市）、10月に「西原シティ」（沖縄県中頭郡）、11月に「宮古オリタ食品館」（沖縄県宮古島市）等を改装、6月に「石垣シティ」（沖縄県石垣市）の建替を行い開店いたしました。また、新規業態として「サンエー浦添西海岸PARCO CITY」（沖縄県浦添市）において、6月に「サンエーNintendo Area(任天堂売場)」、9月にフランチャイズ店舗「Soup Stock Tokyo 沖縄・浦添パルコシティ店」を開店いたしました。今後も既存店の活性化に積極的に取り組んでまいります。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

【小売事業】

小売につきましては、前年より気温が低く推移した影響で、衣料品や食料品を中心に季節商材が苦戦したことや、家電において前年実施された沖縄県の省エネ施策（2024年6月～2025年1月）の反動減がみられましたが、10月以降「サンエーアプリ」を活用した販促施策や店頭での試食販売を強化したことにより、既存店売上は堅調に推移しました。

その結果、営業収益は1,754億円(前年同期比3.1%増)となりました。一方で既存店の建替え及び改装に伴う休業や経費計上等もあり、セグメント利益は108億88百万円(同2.4%減)となりました。

【コンビニエンスストア事業】（以下「CVS」という。）

CVSは、FC店舗を1店舗閉店、6店舗の新規開店及び既存店が好調に推移し、営業収益は70億74百万円(前年同期比8.2%増)、セグメント利益は17億37百万円(同27.3%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して199億29百万円増加し、2,111億53百万円となりました。主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により現金及び預金が159億37百万円、売掛金が20億85百万円、商品及び製品が8億46百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して163億62百万円増加し、530億40百万円となりました。主な要因は、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日であったこと等により買掛金が104億89百万円、賞与引当金が16億33百万円、流動負債その他が43億56百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して35億66百万円増加し、1,581億12百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が31億30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月7日に開示しました「2025年2月期 決算短信」で発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	59,843	75,780
売掛金	7,265	9,350
商品及び製品	15,180	16,027
原材料及び貯蔵品	475	398
その他	3,053	3,037
流动資産合計	85,818	104,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,138	46,404
土地	35,290	35,667
建設仮勘定	4,802	6,093
その他（純額）	3,956	4,732
有形固定資産合計	93,188	92,898
無形固定資産	801	767
投資その他の資産	11,415	12,892
固定資産合計	105,405	106,558
資産合計	191,224	211,153
負債の部		
流动負債		
買掛金	11,651	22,141
未払法人税等	2,259	2,072
賞与引当金	1,553	3,186
その他	14,131	18,488
流动負債合計	29,596	45,888
固定負債		
退職給付に係る負債	2,675	2,767
資産除去債務	646	656
その他	3,759	3,728
固定負債合計	7,081	7,152
負債合計	36,678	53,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,723	3,723
資本剰余金	3,720	3,730
利益剰余金	147,224	150,355
自己株式	△4,222	△4,202
株主資本合計	150,446	153,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	216
退職給付に係る調整累計額	△23	△33
その他の包括利益累計額合計	61	183
非支配株主持分	4,038	4,322
純資産合計	154,546	158,112
負債純資産合計	191,224	211,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	162,856	167,518
売上原価	111,165	114,788
売上総利益	51,691	52,730
営業収入	13,769	14,943
営業総利益	65,460	67,673
販売費及び一般管理費	52,937	55,046
営業利益	12,523	12,626
営業外収益		
受取利息	21	113
受取配当金	22	80
債務勘定整理益	87	93
その他	255	229
営業外収益合計	387	516
営業外費用		
支払利息	19	19
その他	21	13
営業外費用合計	40	33
経常利益	12,870	13,109
特別損失		
固定資産除却損	201	500
減損損失	6	—
特別損失合計	207	500
税金等調整前四半期純利益	12,662	12,609
法人税、住民税及び事業税	4,069	4,432
法人税等調整額	△101	△645
法人税等合計	3,968	3,787
四半期純利益	8,693	8,822
非支配株主に帰属する四半期純利益	546	744
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,146	8,077

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	8,693	8,822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24	131
退職給付に係る調整額	9	△9
その他の包括利益合計	△14	121
四半期包括利益	8,679	8,943
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,132	8,199
非支配株主に係る四半期包括利益	546	744

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	小売	C V S	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	164,592	6,540	171,132	—	171,132
その他の収益	5,493	—	5,493	—	5,493
外部顧客への売上高	170,085	6,540	176,625	—	176,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	—	20	△20	—
計	170,105	6,540	176,646	△20	176,625
セグメント利益	11,157	1,364	12,522	1	12,523

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、セグメント間取引消去1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「C V S」セグメントにおいて、店舗資産に係る減損損失6百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	小売	C V S	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる収益	169,505	7,074	176,579	—	176,579
その他の収益	5,881	—	5,881	—	5,881
外部顧客への売上高	175,386	7,074	182,461	—	182,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14	—	14	△14	—
計	175,400	7,074	182,475	△14	182,461
セグメント利益	10,888	1,737	12,625	0	12,626

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去0百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	4,962百万円	4,997百万円